

祝 辞 （2022年3月18日）

学校法人明浄学院 理事長・管財人
中井 康之

皆さん、卒業おめでとうございます

本日、大阪観光大学から皆さんに学位が授与されたことを心からお喜び申し上げます。

大学4年間のうち後半の2年間は、新型コロナウイルス感染症のために、皆さんと教職員の間でも学生同士の間でも、直接の交流が困難となりました。しかし、皆さんの協力と、幸いウェブ環境などの通信設備等の進歩により、このような困難も一定程度克服でき、大学として確保すべき教育と研究の機会は何とか、皆さんに提供できたのではないかと思います。

また、新型コロナウイルス感染症は、単に人と人の直接交流を困難にただけではなく、社会経済に大きな影響を与えました。人の移動を伴う産業である観光業がその典型ですが、飲食業や宿泊業はもちろん、人の移動手段である交通関連産業にも大きな影響を与え、売上げが激減しました。政府による資金繰り支援等により、何とか事業活動は維持しているものの、売上げの減少は、固定費、特に人件費の削減につながり、宿泊、交通、飲食などを含む観光産業にかかわる人々の生活を苦しめました。同時に、観光や国際交流を学んだ皆さんにとって、その就職希望先がこれら産業と密接に関係していることから、みなさんの就職活動も厳しいものになったのではないかと思います。

それでも、皆さんは、それらの困難を見事に乗り越えて、本日、本学を卒業し、社会に羽ばたきます。今後の人生においても、幾多の困難が待ち受けていることと思いますが、大学時代の経験や、そこで学んだことを活かして、これからの人生をしっかりと歩んでほしいと思います。

大学4年間のうち前半の2年間は、大阪観光大学を設置している学校法人明浄学院において、明浄学院高等学校の文の里の土地をめぐる、理事長らによる業務上横領事件が発生したことから、連日の新聞報道等により、学生のみならず、ここにお集まりの教職員の皆さんに、ご心配とご不安、ご迷惑をおかけすることになりました。改めて、理事長として心からお詫び申し上げます。

このような事件の結果、2年前の2020年令和2年3月に、明浄学院に対して民事再生手続が開始し、私が管財人に選任され、その後は、裁判所の監督のもと、管財人として、また理事長として、学校法人明浄学院の再建に尽くしてきました。その結果、明浄学院高等学校は、この4月1日から学校法人藍野大学の設置校となり、大阪観光大学は、今年の1月に山田学長を迎え、4月1日には新しい理事長を迎えることとなり、名前も、明浄学院から学校法人大阪観光大学となります。今後は、新理事長と山田学長のもとで、日本一の観光大学を目指していくことになりました。

この新しい船出を前に、皆さんを、日本観光大学の卒業生として送り出すことができ、本当に良かったと安堵しています。皆さんの卒業した大学が、近い将来に、日本一の観光大学と呼ばれることを、皆さんと一緒に祈りたいと思います。

大学生活の4年間で、皆さんは、学校法人内部における人としての醜い紛争や、コロナ禍という自然現象に起因する社会問題を経験しました。特に、海外から留学されている皆さんは、コロナ感染症に対する国家間の対応の違いなどからも、コロナ禍が国際交流に与える影響の大きさに戸惑われたりしたのではないのでしょうか。そして、卒業する今、ウクライナでは、誰も予想もしなかった戦争が続いています。

日本だけではなく、世界が動いています。だれも、将来を予測することは困難です。皆さんは、そのような将来予測のできない時代を歩んでいくこととなります。この4年間に大阪観光大学で学んだこと、経験したこと、その間に得た友人や先生方との人間関係を活かして、たくましく、そして、自信をもって、新たな一歩を踏み出し、確実に成長して行ってほしいと心から願って、祝辞といたします。

2022年令和4年3月18日

学校法人明浄学院、理事長、そして管財人弁護士、中井康之。